

TDS3000シリーズから 3シリーズMDOへの進化

製品比較シート

より多機能に、より柔軟に



3シリーズ MDO

- 独自のハードウェアによるスペクトラム・アナライザ
- ロジック・アナライザ・チャンネル、ファンクション・ジェネレータを統合（オプション）
- シリアル・バスのデコードとトリガ（オプション）
- アップグレード可能な周波数帯域とオプション

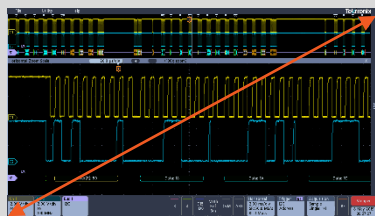


TDS3000シリーズ

- × FFT のみ
- × デジタル・チャンネルなし
- × シリアル・デコード機能なし
- × 周波数帯域は固定

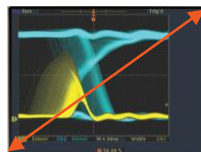
大きくなった波形表示エリア

3シリーズMDO



11.6型
HD 1920 x 1080

TDS3000シリーズ



6.5型
VGA 640 x 480

次世代のユーザ・インタフェース

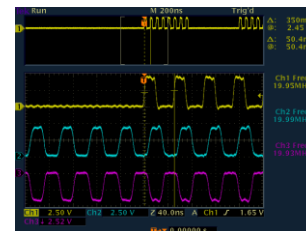
3シリーズMDO

- ピンチ、スワイプ、タップ操作が可能な静電容量式タッチスクリーン
- ポジション、スケールは、ピンチ、ドラッグまたは操作ノブで変更可能
- 設定変更は、リードアウトをダブル・タップするだけ



TDS3000シリーズ

- 画面右横、下部のベゼル・ボタンによる前面パネル・ボタン
- ポジション、スケールは操作ノブで変更
- 設定変更はまず前面パネルのボタンを押す。次に、ベゼル・ボタンを押して設定を変更する



テスト・システム移行のための無償のコマンド互換の詳細については、当社お客様コールセンターまでお問い合わせください。

TDS3000シリーズから 3シリーズMDOへの進化

製品比較シート



主な仕様の比較

| | テクトロニクス 3シリーズMDO | テクトロニクス TDS3000シリーズ |
|-----------------------|--|---|
| チャンネル数 | 2 または 4 | |
| 周波数帯域 | 100、200、350、500MHz または 1GHz (アップグレード可能) | 100、200、350、500MHz |
| アナログ・チャンネルの最高サンプル・レート | 2.5GS/s (4 ch同時)、5GS/s (2 ch同時) | 1.25GS/s ~ 5GS/s |
| 最大レコード長 (ポイント) | 10M | 10k |
| 波形更新レート | 235,000 波形 / 秒以上 | 3,600 波形 / 秒 |
| デジタル・チャンネル数 | 16 (オプション) | なし |
| 統合スペクトラム・アナライザ | RFハードウェアベース 9kHz~1GHz (標準)、3GHz (オプション) | なし |
| 統合任意波形ジェネレータ | 50MHz (オプション) | なし |
| シリアル・バスのトリガ、解析 | オプション : I ² C、SPI、RS232/422/485/UART CAN、CAN-FD、LIN、FlexRay、MIL-STD- 1553、I2S/LJ/RJ/TDM、USB | なし |
| ディスプレイ・サイズ | 11.6型 | 6.5型 |
| ディスプレイの解像度 | HD 1920 x 1080 | VGA 800 x 480 |
| I/O ポート | USB 2.0: ホスト・ポート×3 + デバイス・ポート×1 LAN HDMI ビデオ | USB 2.0: ホスト・ポート×2 + デバイス・ポート×1 LAN VGA ビデオ |
| バッテリー動作 | なし | オプション |